

初開催のドラゴンボートは大熱狂



9月15日、輝北ダム平房公園で「かごしま国体開催記念ドラゴンボートレース」が開催されました。第1回目となる本大会には企業や団体、海上自衛隊、消防など総勢14チーム170名が出場。太鼓に合わせて約300mのコースを全力で漕ぐ熱いレースは、会場を大いに盛り上げました。

伝統行事十五夜大綱引きが賑わう



9月13日、笠之原公園で「第25回笠之原十五夜大綱引大祭」が開催されました。これは、五穀豊穡や商売繁盛などを願って行われる祭りで、北と南の2チームに分かれて3回綱を引き合います。多いときには約350名が参加し、熱い引き合いを繰り広げました。

美しい歌声が響くコーラスの祭典



9月7日、リナシティかのやで「戦後80年平和祈念コンサート～コーラスフェスティバル～」が開催されました。当日は小学生から大人までの14団体が出場し、日頃の練習の成果を披露。ホールには美しい歌声が力強く響き、観客を大いに魅了しました。



楽しみつつ豪華賞品を狙う



9月20日、吾平自然公園で「かみのゴッドフェス～競宴～」が開催されました。これは、神野スマイル協働隊主催の子どもから大人まで楽しめる参加型イベント。米の重量当てクイズや川流輪投げなど4競技が行われ、参加者は神野の自然に触れながら各競技を楽しんでいました。

秋の交通安全運動、啓発を図る



9月19日、イオンかのやショッピングセンターで「秋の全国交通安全運動出発式」が行われました。行政、警察、シエルブルーかのやなど様々な団体約150人が参加し啓発活動を行ったほか、鹿屋カトリック幼稚園園児によるダンスや「誓いの言葉」も披露され、交通安全を呼び掛けました。

地元企業に目を輝かせる子どもたち



9月13日、串良平和アリーナで鹿屋商工会議所青年部主催の「かのやこども未来フェス」が開催され、283人の子どもたちが地元企業の仕事を体験しました。会場には建築屋や弁護士、アニメーターなど全26ブースが出展。参加者は様々な仕事を体験し、目を輝かせながら楽しんでいました。

盆がまで地域がふれあう



9月7日、たかくま石蔵館（上高隈町）で「そうめん流しと盆がま体験」が行われました。これは、地域の伝統行事に高齢者と子どもたちがともに参加し、ふれあうことで地域の活性化を図ろうと実施されたもの。当日は約60人が参加し、世代を越えた交流が図れました。

長寿の秘訣は歩くこと



9月24日、「元気な百寿者」に選ばれた村田カズエさん（吾平町麓）にお祝い状を贈呈しました。長寿の秘訣は歩くことや料理をすることと語っていました。

すごだん Sugodanが初の活動



9月20日、寿小学校でSugodan（寿小校区活性化団体）が寿小校区住民を対象に防災教室を実施しました。消火訓練や非常食の試食などを通して、防災に対する理解を深めました。

市文化会館周辺を清掃



9月19日、鹿児島県宅地建物取引業協会大隅支部が、地域貢献活動の一環として例年実施しているボランティア清掃を市文化会館周辺で行いました。

来るべき災害に向けて



9月17日、鹿屋上下水道工事協同組合によるボランティア活動の一環として、市内18か所で指定されている避難所施設で水道設備の点検を行いました。

敬老の日、長寿を祝う



9月15日、県内男性最高齢の松園義則さん（106歳）に祝い状の贈呈が行われました。贈呈を受けた松園さんは「とてもうれしい」と語り、得意の民謡を披露していました。

80年前の記憶を語り継ぐ



9月4日、高須町民会館で「進駐軍高須上陸を語り継ぐ会」が開催されました。同会は毎年開催されており、約50人が当時を振り返りながら様々なエピソードに耳を傾けていました。